

#### 4 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

入院における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「VII 眼及び付属器の疾患」が最も高く、それぞれ4,197.7点、4,431.4点となっている。

入院外における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「XIV 尿路性器系の疾患」が最も高く、それぞれ1,542.6点、2,115.7点となっている。(表7)

表7 入院－入院外・一般医療－老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成15年6月審査分)

傷病分類	入 院		入 院 外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総 数	2 278.7	2 097.2	615.3	670.9
I 感染症及び寄生虫症	2 520.7	2 122.9	567.9	508.3
II 新生物	3 295.3	2 829.9	1 404.3	1 471.7
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	2 843.9	2 739.1	2 039.2	1 715.8
乳房の悪性新生物 (再掲)	3 232.2	2 656.0	2 194.2	1 548.4
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 152.7	2 095.3	1 000.6	896.1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 309.1	1 877.3	859.8	793.3
糖尿病 (再掲)	2 284.5	1 895.7	966.6	917.6
V 精神及び行動の障害	1 073.3	1 112.3	636.6	667.6
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 037.2	981.3	773.2	751.7
VI 神経系の疾患	1 918.6	1 807.3	554.0	702.6
VII 眼及び付属器の疾患	4 197.7	4 431.4	539.6	591.3
白内障 (再掲)	5 048.2	4 735.6	584.1	575.7
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3 185.5	2 823.3	379.3	363.9
IX 循環器系の疾患	3 288.8	2 118.4	671.0	671.4
高血圧性疾患 (再掲)	2 243.8	1 589.7	641.2	643.8
虚血性心疾患 (再掲)	7 584.5	3 951.9	881.3	753.9
脳梗塞 (再掲)	2 258.4	1 725.9	685.0	661.6
X 呼吸器系の疾患	2 861.0	2 141.9	458.1	750.1
肺炎 (再掲)	2 705.3	2 200.2	669.4	978.8
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	2 827.9	2 041.8	464.8	571.7
喘息 (再掲)	2 668.3	1 922.3	533.2	828.6
X I 消化器系の疾患	2 919.8	2 520.2	667.0	638.8
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2 440.5	2 088.7	389.3	384.4
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 112.2	2 045.5	385.0	356.2
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	2 268.6	1 964.6	350.3	330.8
関節症 (再掲)	2 488.4	3 278.0	306.0	331.8
X IV 尿路性器系の疾患	3 248.5	2 507.3	1 542.6	2 115.7
腎不全 (再掲)	3 049.1	2 537.0	3 357.1	3 136.1
尿路結石症 (再掲)	4 640.4	2 883.3	1 093.9	917.3
X V 妊娠、分娩及び産じょく	2 547.0	-	559.3	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 520.4	1 929.5	464.3	416.3
骨折 (再掲)	2 482.3	1 947.0	479.8	441.8
その他の傷病	2 914.0	2 193.8	700.3	658.7

注:1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「XVI周産期に発生した病態」「XVII先天奇形、変形及び染色体異常」及び「XVIII症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

〔歯科診療〕

5 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,452.6点で、前年に比べ67.7点、4.9%増加している。

1日当たり点数は、595.6点で、前年に比べ2.2点、0.4%増加している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」284.5点(構成割合47.8%)が最も高く、次いで「処置」92.9点(15.6%)、「初・再診」77.2点(13.0%)の順となっている。

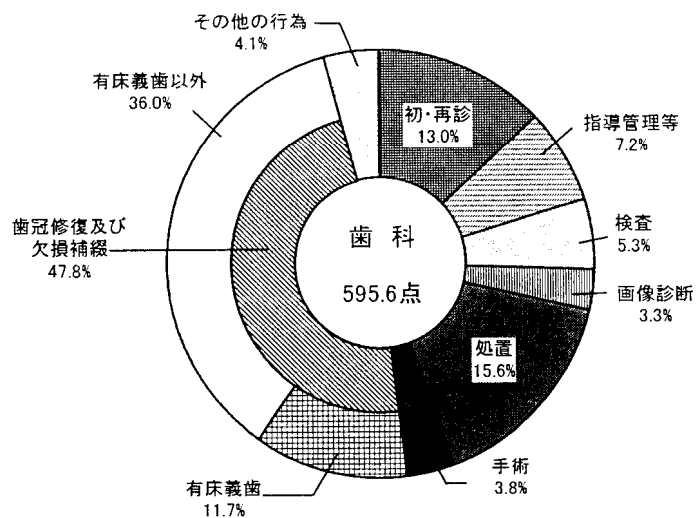
1件当たり日数は2.44日で、前年に比べ0.10日増加している。(表8、図7)

表8 診療行為別にみた1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数  
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成15年	平成14年	対前年比		平成15年	平成14年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	1 452.6	1 384.9	67.7	4.9	595.6	593.4	2.2	0.4
初・再診	188.2	179.6	8.5	4.7	77.2	77.0	0.2	0.2
指導管理等	105.1	101.6	3.5	3.4	43.1	43.5	△ 0.4	△ 1.0
在宅医療	17.0	7.4	9.6	130.2	7.0	3.2	3.8	120.3
検査	76.5	75.2	1.3	1.8	31.4	32.2	△ 0.8	△ 2.6
画像診断	47.9	49.2	△ 1.4	△ 2.8	19.6	21.1	△ 1.5	△ 6.9
投薬	25.8	23.7	2.1	8.9	10.6	10.1	0.4	4.2
注射	1.5	1.2	0.4	32.9	0.6	0.5	0.1	27.2
リハビリテーション	0.2	0.4	△ 0.1	△ 32.3	0.1	0.2	△ 0.1	△ 35.2
処置	226.6	213.3	13.3	6.2	92.9	91.4	1.5	1.7
手術	54.9	52.7	2.2	4.2	22.5	22.6	△ 0.1	△ 0.3
麻酔	4.0	3.4	0.7	19.8	1.6	1.4	0.2	14.7
放射線治療	0.1	0.1	△ 0.0	△ 7.5	0.1	0.1	△ 0.0	△ 11.5
歯冠修復及び欠損補綴	693.9	667.7	26.2	3.9	284.5	286.1	△ 1.6	△ 0.6
歯科矯正	0.4	0.5	△ 0.0	△ 8.3	0.2	0.2	△ 0.0	△ 12.2
入院料等	10.5	9.1	1.4	15.7	4.3	3.9	0.4	10.7
(1件当たり日数)	(2.44)	(2.33)						

図7 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成15年6月審査分)



注：その他の行為は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

## 6 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,375.3 点、老人医療 1,869.8 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 575.2 点、老人医療 693.8 点で、年齢階級別にみると、「80 歳以上」746.4 点が最も高く、次いで「70～79 歳」665.3 点となっており、「0～14 歳」427.5 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べて「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が多く、「処置」「初・再診」の割合が少なくなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.39 日、老人医療 2.70 日となっている。(表9、図8)

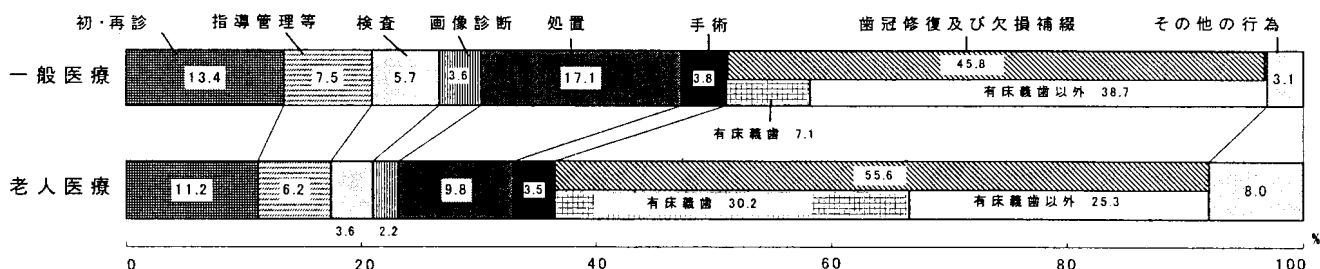
表9 一般医療—老人医療—年齢階級別にみた診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 375.3	1 869.8	752.4	1 322.3	1 571.9	1 809.4	2 020.4
初診	184.4	208.6	202.3	183.9	179.2	200.5	230.9
指導管理	103.0	116.4	58.7	112.2	110.2	120.5	102.1
在宅医療	1.8	99.2	0.0	0.7	4.8	35.0	252.5
検査	78.3	66.9	19.3	90.5	87.6	77.1	48.0
画像診断	49.2	40.5	23.6	63.4	48.7	44.0	34.8
処置	25.6	26.8	7.1	28.6	29.0	27.0	27.4
注射	1.3	2.8	0.1	1.3	1.6	2.5	4.6
リハビリテーション	0.2	0.4	0.1	0.2	0.3	0.2	0.8
手術	234.6	182.9	99.7	269.3	253.4	203.5	132.4
麻酔	52.9	65.5	27.4	53.8	59.4	64.0	71.1
放射線治療	4.2	2.8	3.8	6.9	2.9	3.0	2.5
歯冠修復及び欠損補綴	0.1	0.2	-	0.0	0.2	0.2	0.3
歯科矯正等	629.9	1 039.2	306.8	499.0	784.6	1 015.7	1 092.7
入院料等	0.5	-	0.7	1.4	0.0	-	-
	9.2	17.5	2.8	11.2	10.0	16.2	20.3
1 日 当 た り 点 数							
総数	575.2	693.8	427.5	563.7	609.3	665.3	746.4
初診	77.1	77.4	114.9	78.4	69.5	73.7	85.3
指導管理	43.1	43.2	33.3	47.8	42.7	44.3	37.7
在宅医療	0.8	36.8	0.0	0.3	1.9	12.9	93.3
検査	32.7	24.8	11.0	38.6	34.0	28.4	17.7
画像診断	20.6	15.0	13.4	27.0	18.9	16.2	12.9
処置	10.7	10.0	4.1	12.2	11.2	9.9	10.1
注射	0.5	1.1	0.1	0.5	0.6	0.9	1.7
リハビリテーション	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3
手術	98.1	67.9	56.6	114.8	98.2	74.8	48.9
麻酔	22.1	24.3	15.5	22.9	23.0	23.5	26.3
放射線治療	1.8	1.0	2.1	3.0	1.1	1.1	0.9
歯冠修復及び欠損補綴	0.0	0.1	-	0.0	0.1	0.1	0.1
歯科矯正等	263.4	385.6	174.3	212.7	304.1	373.5	403.7
入院料等	0.2	-	0.4	0.6	0.0	-	-
	3.8	6.5	1.6	4.8	3.9	6.0	7.5
1 件 当 た り 日 数							
	2.39	2.70	1.76	2.35	2.58	2.72	2.71

注: 「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図8 一般医療—老人医療別にみた診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成15年6月審査分)



注: その他の行為は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

## 7 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「歯の補綴」が最も高く、それぞれ 874.2 点、821.3 点となっており、次いで「顎の疾患・口内炎等」がそれぞれ 820.5 点、751.0 点となっている。(表10)

表10 一般医療—老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

(平成15年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	575.2	693.8
むしば	597.4	736.4
歯髄炎等	533.0	673.4
歯根膜炎等	471.6	630.5
歯肉炎等	395.0	365.3
歯周炎等	507.8	530.3
智歯周囲炎等	449.8	635.2
その他の歯の疾患	489.4	587.8
褥瘡性潰瘍等	392.7	468.5
顎の疾患・口内炎等	820.5	751.0
歯の補綴	874.2	821.3

注: 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改正」(ICD-10)を準用した。

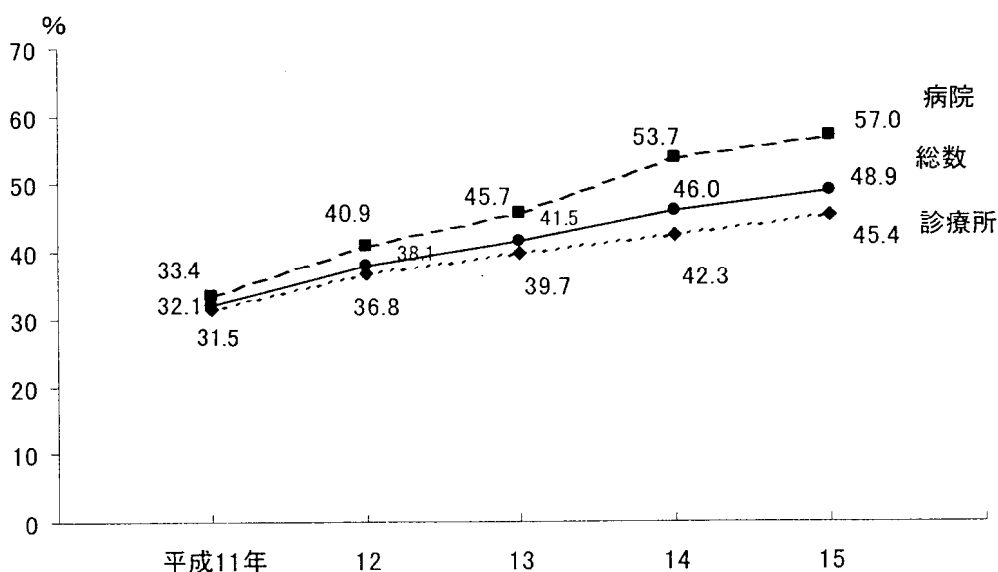
## 〔院外処方〕

### 8 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で 48.9%となっており、前年(46.0%)に比べ 2.9 ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院 57.0%、診療所 45.4%と病院の方が高く、前年に比べそれぞれ 3.3 ポイント、3.2 ポイント上昇している。(図9)

図9 病院—診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

(各年6月審査分)



注: 院外処方率とは、「処方料」及び「処方せん料」の合計算定回数に対する「処方せん料」算定回数の割合である。

〔薬局調剤〕

9 調剤行為の状況

1件当たり点数は949.0点で、前年に比べ59.2点、6.7%増加している。

処方せんの受付1回当たり点数は617.2点、前年に比べ49.7点、8.8%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」431.9点が最も高く、次いで「調剤技術料」147.7点、「指導管理料」36.8点となっている。

1件当たり受付回数は1.54回で、前年に比べ0.03回減少している。

一般医療、老人医療別にみると、1件当たり点数は一般医療807.0点、老人医療1,271.1点、受付1回当たり点数は一般医療552.9点、老人医療741.2点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、一般医療、老人医療ともに「薬剤料」の割合が約7割となっている。(表11・12、図10)

表11 調剤行為別にみた1件当たり点数、受付1回当たり点数、1件当たり受付回数

調剤行為	1件当たり点数				受付1回当たり点数			
	平成15年	平成14年	対前年比		平成15年	平成14年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	949.0	889.8	59.2	6.7	617.2	567.4	49.7	8.8
調剤技術料	227.1	224.9	2.2	1.0	147.7	143.5	4.3	3.0
指導管理料	56.6	60.0	△ 3.5	△ 5.8	36.8	38.3	△ 1.5	△ 3.9
薬剤料	664.1	603.7	60.4	10.0	431.9	385.0	46.9	12.2
特定保険医療材料料	1.0	1.1	△ 0.0	△ 0.9	0.7	0.7	0.0	1.0
(1件当たり受付回数)	(1.54)	(1.57)						

表12 一般医療—老人医療—年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数、受付1回当たり点数、1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	老人医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~69歳	70~79歳	80歳以上
1件当たり点数								
総数	949.0	807.0	1 271.1	503.4	590.1	991.0	1 224.1	1 319.5
調剤技術料	227.1	196.8	296.0	184.7	154.9	217.0	276.3	328.2
指導管理料	56.6	54.7	60.8	61.8	51.8	53.6	59.7	62.1
薬剤料	664.1	554.5	912.8	256.8	382.6	718.8	886.7	928.2
特定保険医療材料料	1.0	1.0	1.2	0.1	0.7	1.5	1.3	0.7
受付1回当たり点数								
総数	617.2	552.9	741.2	324.3	437.1	672.1	740.4	728.4
調剤技術料	147.7	134.8	172.6	119.0	114.7	147.2	167.1	181.1
指導管理料	36.8	37.5	35.4	39.8	38.4	36.3	36.1	34.3
薬剤料	431.9	379.9	532.3	165.4	283.4	487.5	536.3	512.4
特定保険医療材料料	0.7	0.7	0.7	0.0	0.5	1.0	0.8	0.4
1件当たり受付回数								
	1.54	1.46	1.71	1.55	1.35	1.47	1.65	1.81

注:「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図10 一般医療—老人医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合

(平成15年6月審査分)

